

今月の地域おこし協力隊

こんにちは、地域おこし協力隊の山口です。

五戸で3度目の春を迎えました。地域おこし協力隊制度は、「地域協力活動」を行いながら、その地域への定住・定着を図る取組で、最長3年間の活動期間が設けられています。私は活動最後の年となります。五戸に移住した理由は「夫婦で農業をする」こと。最終的には、農業で暮らしを立てて、自分らしく幸せに暮らすことが、町にできる一番の恩返しだと考えています。

この春から畑を本格的に始めます。数年は実験と学びで精一杯だと思いますが、どうか長い目で見守ってください。



こんにちは、地域おこし協力隊の平尾です。中央商店街のバス停のリノベーションでご協力いただいている八戸工業大学の学生さんが昨年実施した五戸町の魅力を発見する現地調査（フィールドワーク）について、この程その成果発表があり、銀座振興会・福井会長とともに伺いました。発表では「五戸町にある昔からの町並みや事物、写真資料などは町の資産として価値があるもの」とされ、リノベーションの際にはそれらを活かしたバス停作りが提案されました。今後は町の方々と、この提案を更に検討していく予定ですので、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。



[五戸町地域おこし
協力隊 Facebook](#)へ